

大田支店
支店長
桑野 隆一

環境・健康・連携を重視し 支店のSDGsを推進

| 環境への負荷軽減でSDGsに貢献

まず、桑野さんとSDGsとの関わりを教えてください。

私は2024年4月に大田支店に配属されました。その年に当社のSDGsへの取り組みが本格化し、SDGs推進委員会の委員に選出されました。現在は、SDGs推進委員会の一員として、支店業務とSDGsを融合させた目標を掲げ、日々の業務に取り組んでいます。

大田支店では、どのような取り組みでSDGsを推進していますか？

大田支店では、「環境」を意識した取り組みを推進しています。一例を挙げると、大田区の公園業務委託事業に携わるなかで、ガソリンエンジン式の機器を電動モーター式へ変更する提案を行ないました。ガソリン機器は温室効果ガスを排出し、地球温暖化を進行させる原因となります。ガソリン機器をブロワーや刈払機を電動モーター式に切り替えることで、排ガスを削減し、脱炭素社会の実現に貢献できます。これは、SDGs目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」の達成につながる取り組みだと考えています。

ほかにも、環境への負担をやわらげる活動をしていますか？

従業員が着用するユニフォームに「フローサイクルシステム」を導入し、環境負荷の軽減を目指しています。使用・回収・処理（洗浄等）・再生（加工）・再配布というフローを構築し、一度使用したユニフォームのリサイクルを推進しています。大田支店をモデルケースとして、ゆくゆくは全従業員に展開することを目標としています。この取り組みは、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」に該当します。

| 従業員の健康と周囲との連携にも配慮

環境以外には、どんな取り組みをしていますか？

従業員の健康促進とパートナーシップの強化に取り組んでいます。どちらも支店運営に直接関わるもので、かつSDGsに貢献する取り組みであると考えています。

従業員の健康促進のために、どんなことに力を入れていますか？

企業にとって従業員の健康管理は非常に重要です。大田支店では、大

田区が推進する「おおた健康経営事業所」に応募し、健康診断受診率100%の達成やストレスチェックの実施を推進しています。従業員が安心して働ける環境づくりを進めています。これはSDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」に該当する取り組みです。

パートナーシップの強化についても教えてください。

支店業務は、従業員・クライアント・ステークホルダーの皆様との協力によって成り立っています。関係するすべての人と良好な関係を築きながら業務を遂行することは、SDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に該当します。これまで実践してきたことですが、目標を明確にすることで、全従業員がSDGs推進の一員であるという意識を持ち、働く喜びを実感できる環境づくりを進めています。



| SDGs活動で地域と職場の環境を向上

今後の展望や目標について教えてください。

大田支店は、環境負荷軽減や健康経営、パートナーシップに関連する取り組みが評価され、「SDGs おおたスカイパートナー」に認定されました。今後もさまざまなSDGsに関連する目標を掲げ、SDGs活動を推進していきます。SDGsの達成期限は2030年ですが、その先の未来を見据え、地域環境の向上と「従業員が生き生きと働く職場」の実現を目指します。